

「持続可能な開発目標(SDGs)」って?

「持続可能」という言葉は近年さまざまところで目にするようになった言葉です。国際連合では2016年から2030年までの15年間で、貧困や不平等・格差、気候変動などの問題を解決して、持続可能な世界を作るための17の目標を掲げています。この目標は「持続可能な開発目標(SDGs)」と呼ばれています。

世界ジオパークでは、「気候変動に具体的な対策を(目標13)」など、8つの目標達成に力を入れており、日本ジオパークも同様にSDGsを意識した活動を始めています。

この目標はジオパークだけの目標ではありません。例えば世界農業遺産(GIAHS)は「飢餓をゼロに(目標2)」に、世界文化遺産は「住み続けられるまちづくりを(目標11)」の達成に貢献できる取り組みです。

ジオパークは、佐渡島の社会・経済・文化の持続的発展を目指すための取り組みです。これからはSDGsを意識することによって、世界農業遺産や世界文化遺産といったそのほかの活動とより連携することができます。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは…
次の頭文字をとった略語です

- S** Sustainable **【持続可能な】**
サステナブル
- D** Development **【開発】**
ディベロップメント
- GS** Goals **【目標】**
ゴールズ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナースHIPで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

宝くじの助成事業を活用して、ジオパークを学ぶ体験旅行をPR!

糸魚川、佐渡、苗場山麓の県内ジオパークが連携して、ジオパークを学んでもらう体験旅行を誘致する取り組みを行っています。

平成30年度は、宝くじの社会貢献広報事業として、受託事業収入を財源とするコミュニティ助成事業を活用して、日本修学旅行協会が発行する月刊誌「教育旅行」11月号への広告掲載と、旅行会社等を対象とした県内3ジオパークを巡る体験旅行のモニターツアーを、2月14日から16日の間実施しました。

